

2022年5月16日

各 位

会社名 岡谷鋼機株式会社
代表者 取締役社長 岡谷健広
コード番号 7485 (名証プレミア)
問合せ先 取締役企画本部長 長崎良視
TEL (052)204-8133

チャリティーコンサート開催について

当社は2013年より毎年、社会貢献活動の一環として「OKAYA チャリティーコンサート」を開催しております。多くの皆様にご賛同いただき、おかげさまで本年10回目の開催を迎えることができ、感染対策を施した上で約3年ぶりに有観客にて開催いたします。

地域の皆様にお気軽に演奏をお楽しみいただけるよう、入場料は全席1,000円に設定しております。また、地域の社会福祉向上のため、入場料収入全額に当社が同額のマッチングギフトを加え社会福祉法人愛知県共同募金会へ寄付いたします。

今回は、愛知県芸術劇場が誇る日本最大級のパイプオルガンを使用した曲目も織り込み、下記出演者をお迎えし、名古屋フィルハーモニー交響楽団の演奏をお届けいたします。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。コンサートの概要は下記のとおりです。

記

1. 名 称 OKAYA チャリティーコンサート 2022 ～感謝の夕べ～
2. 開催日時 2022年7月25日(月) 18:45開演 (18:00開場)
3. 開催場所 愛知県芸術劇場コンサートホール
(名古屋市東区東桜1-13-2 地下鉄栄駅下車 徒歩3分)
4. 出演者 下野 竜也 (指揮)
田村 響 (ピアノ)
中原 梨衣紗 (ヴァイオリン)
都築 由理江 (パイプオルガン)
名古屋フィルハーモニー交響楽団
5. 曲目 プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 ニ長調
ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲
サン＝サーンス：交響曲第3番 ハ短調『オルガン付』
6. 入場料 1,000円 (全席指定)
7. 販売 5月28日(土)より各プレイガイドにて発売
8. 主催 岡谷鋼機株式会社
9. お問い合わせ クラシック名古屋 TEL：052-678-5310

以 上

OKAYA

チャリティーコンサート 2022

～感謝の夕べ～



【ヴァイオリン】
中原 梨衣紗



【指揮】
下野 竜也



【ピアノ】
田村 響

【オーケストラ】 名古屋フィルハーモニー交響楽団

7/25 2022. [月] 全席指定 1,000円 (税込)
開場18:00/開演18:45

愛知県芸術劇場コンサートホール

PROGRAM

プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 ニ長調
ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲
サン＝サーンス：交響曲第3番 ハ短調『オルガン付』

主催：岡谷鋼機株式会社

プレイガイド

アイチケット 0570-00-5310 [アイチケット web](#) (座席選択可)
芸文プレイガイド 052-972-0430
チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード:217-117)

お問合せ：クラシック名古屋 ☎052-678-5310

※未就学児のご入場はお断りいたします。
※やむを得ない事情により出演者・曲目・曲順が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
※本公演は新型コロナウイルス感染予防・感染拡大防止対策を講じた上で開催いたします。
※ご来場にはマスクをご着用ください。着用されていない方はご入場いただけません。
※入場時には、検温(37.5℃以上入場不可)・消毒など感染予防対策にご協力をお願いいたします。



【オルガン】
都築 由理江

2022年
5月28日(土)
一般発売開始

チケット売上金全額を社会福祉法人愛知県共同募金会を通じて、地域の社会福祉向上に役立たせていただきます。



© Naoya Yamaguchi

下野 竜也【指揮】

SHIMONO Tatsuya, Conductor

1969年生まれ。鹿児島市出身。鹿児島大学教育学部音楽科卒業後、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれウィーン国立演劇音楽大学に留学。2000年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝、2001年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。国内・海外のオーケストラで客演を重ねる。これまでに読売日本交響楽団初代正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任客演指揮者、同常任首席客演指揮者を歴任。

2011年広島ウインド・オーケストラ音楽監督、2017年広島交響楽団音楽総監督に就任。

これまでに、2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年齋藤秀雄メモリアル基金賞、2012年芸術選奨文部科学大臣賞、2013年MBC賞、2014年東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞特別賞、2021年有馬賞などを受賞。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。



© 武藤章

田村 響【ピアノ】

TAMURA Hibiki, Piano

1986年安城市生まれ。3歳よりピアノを始める。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、18歳でザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学に留学。2015年大阪音楽大学大学院修了。2007年ロン・ティボー国際コンクールにおいて弱冠20歳で第1位に輝き、一躍世界に注目されるに至る。

2009年ピシコフ指揮ケルン放送交響楽団の定期演奏会デビューと日本ツアーを行った他、これまでに、N響、読響、都響、新日本フィル、日本フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、東京シティ・フィル、神奈川フィル、仙台フィル、群響などと共演。日本各地でリサイタルを行う。

室内楽活動にも力を入れており、2019年にはマニュエル・ルグリがプロデュースするバレエ作品にも出演し、自身初となるダンス・ステージとのコラボレーションを果たす。深谷直仁、清水皇樹、クラウディオ・ソアレス、クリストフ・リースケの各氏に師事。これまでに4枚のソロCDをリリース。

2006年出光音楽賞、2015年文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞など受賞多数。京都市立芸術大学専任講師、大阪音楽大学特任講師、名古屋音楽大学客員准教授。



中原 梨衣紗【ヴァイオリン】

NAKAHARA Riisa, Violin

2008年生まれ。岡崎市出身。2歳よりヴァイオリンをはじめ。

2018年全日本学生音楽コンクール小学校の部名古屋大会第1位、全国大会第1位、併せて兎束賞、東儀賞、かんぼ生命奨励賞、毎日子ども新聞賞受賞。2019年第18回クロススターシェンタール国際ヴァイオリンコンクール(ドイツ)14歳以下の部第1位及びヴィルトゥオーゾ賞受賞。2021年第75回全日本学生音楽コンクール中学校の部名古屋大会第1位、全国大会第1位、併せて兎束賞、東儀賞、音楽奨励賞、横浜市民賞(聴衆賞)受賞。他、国内外のコンクールにて多数受賞。

清水高師、平田文の各氏に師事。愛知教育大学附属岡崎中学校2年在学中。



都築 由理江【オルガン】

TSUZUKI Yurie, Organ

豊田市出身。東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。

これまでにオルガンを椎名雄一郎、廣野嗣雄、徳岡めぐみの各氏に、チェンバロを大塚直哉氏に、通奏低音を椎名雄一郎氏に師事。

文化庁委託事業「若き音楽家による企画コンサート2012 with 赤坂達三」に入選。愛知県芸術劇場コンサートホールでの同公演を企画・出演する。大学院在籍中より渡欧し、2016年ウィーン国立音楽大学オルガン科修士課程を最優秀成績で修了。2017年アガティ・トロンチ国際オルガンコンクール(イタリア)第2位。2018年愛知県芸術劇場オルガニスト就任後、東京芸術劇場、横浜みなとみらいホール、ミュゼザ川崎シンフォニーホール、サントリーホールなどへ出演。ソリストとして、名古屋フィル、中部フィル、愛知室内オーケストラと共演。

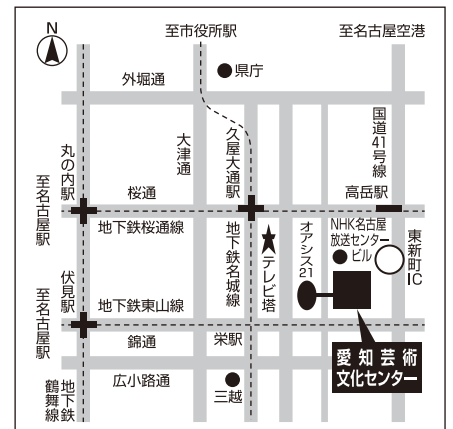


名古屋フィルハーモニー交響楽団

Nagoya Philharmonic Orchestra

愛知県名古屋市を中心に、中部・東海地方を代表するオーケストラとして、地域の音楽界をリード。その革新的な定期演奏会のプログラムや、充実した演奏内容で広く話題を発信。“名フィル”の愛称で地元からも親しまれ、日本のプロ・オーケストラとして確固たる地位を築いている。楽団創立は1966年7月10日。1973年に名古屋市の出捐により財団法人に、2012年に愛知県より認定を受け公益財団法人となる。

2016年小泉和裕が音楽監督に就任。ほかに現在の指揮者陣には、川瀬賢太郎(正指揮者)、小林研一郎(桂冠指揮者)、モーシェ・アツモン(名誉指揮者)、ティエリー・フィッシャー(名誉客演指揮者)が名を連ねる。また、初代藤倉大、第2代酒井健治を継いで、2020年4月坂田直樹が第3代コンポーザー・イン・レジデンスに就任。



愛知県芸術文化センター内 愛知県芸術劇場コンサートホール

地下鉄東山・名城線「栄」駅下車
名鉄瀬戸線「栄町」駅下車